

(別添1) VFM簡易計算ソフト(基本情報入力シート)

※HPにて公開中 (<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/policy/PFItoppage/index.html>)

基本情報

セルの色分け凡例
 : フォーム1から入力する基本条件
 : フォーム2から入力する支出、収入関連の項目
 : フォーム2、3から入力する金利等の項目(デフォルト数値が入力される)

1. 事業主体

事業主体	国	都道府県	市町村
------	---	------	-----

2. 事業方式

事業方式	BTO	BOT
------	-----	-----

3. 事業期間

事業期間	施設整備期間	維持管理期間
------	--------	--------

4. 支出項目 (単位:千円)

	公共主体実施 (PSC)	PFI方式 (右側数値は費用削減率)
建設期間SPC運営費用(年額)【税抜】		
施設(改修)整備費用(総額)【税抜】		
大規模修繕費用(総額)【税抜】		
維持管理費用(年額)【税抜】		
維持管理期間SPC運営費用(年額)【税抜】		

5. 収入項目

	公共主体実施 (PSC)	PFI方式
国庫補助金【税込み】		
都道府県交付金【税込み】		
利用料収入(年額)【税抜】		

6. 資金調達方法

	公共主体実施 (PSC)	PFI方式
地方債【税込み】		

7. 資金調達に係る算定基礎数値

	割合(%)
地方債償還利率	
PFI事業費割引利率	
建中金利	
優先ローンSPC調達金利	
劣後ローンSPC調達金利	

8. 民間事業者の収支に係る算定基礎数値

	割合(%)
PIRR基準値	
DSCR(平均)基準値	
DSCR(最低)基準値	
EIRR基準値	
LLCR基準値	

9. その他の算定基礎数値

	割合(%)
割引率	

10. 施設整備費用等の期間按分比率

	-1年度	0年度
施設整備費用		
国庫補助金		
都道府県交付金		
地方債		

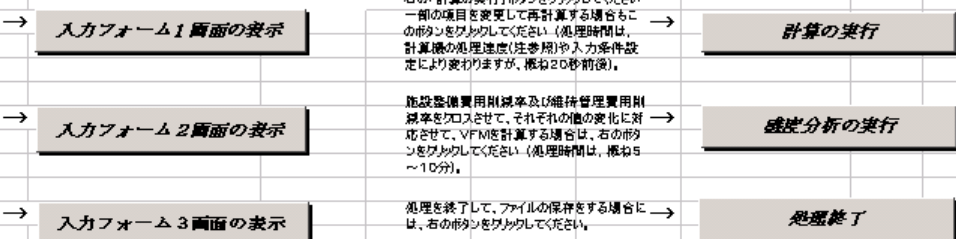
11. 大規模修繕実施年

	大規模修繕実施の1番目の年次	大規模修繕実施の2番目の年次	大規模修繕実施の3番目の年次	大規模修繕実施の4番目の年次	大規模修繕実施年次数
大規模修繕費支出年度					年
修繕費按分比率					

12. その他

	数値	国 (法人税)	都道府県 (事業税)	都道府県 (住民税)	市町村 (住民税)
実効税率					
不動産取得税率					
固定資産税・都市計画税率					

ここに示しているシートに必要な項目を入力することで簡易VFM等を算出することができます。具体的にはPSC(公共が直接実施する場合のコスト)、PFI-LCC(PFI方式で実施する場合のコスト)、VFM(財政負担削減額、財政削減率)等が算出され、これらを元にPFIの実施可能性を検討することができます。参考書では、こうした計算ソフトの活用等を踏まえた発注手続きの簡素化のポイントを記載しています。



(注)処理時間計測の計算機CPU性能(動作周波数): 1.86GHz